
INRI

催吐剤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

INRI

【Nコード】

N3636Q

【作者名】

催吐剤

【あらすじ】

えろいえろいれまさばくたに

救世主は処刑された。

多くの人々が横たえられた死体の前に集い、救世主の死を悼んだが、処刑から数えて三日目ともなると、死体は厭な匂いを放ちだしたので、さすがに家に帰る者も多かった。しかし、それでも多くの者が墓の前にとどまり、救世主のために涙を流し、祈りを捧げていた。

そして奇跡が起こった。

突然、救世主の目蓋が開き、弟子の一人と目が合ったのだ。

「主は甦ったぞ！」

その弟子は言った。

人々は歓声をあげ、救世主のもとに集まり、神に感謝した。

「おお、神よ！」

「奇跡だ、奇跡が起こったのだ！」

やがて救世主は両の脚で大地を踏みしめ、ふらふらと、しかし力強く立ち上がった。

「ぐうううううあああああ！ ああああつ！ ううううううばああああがあああああああつ！」

救世主は濃い腐敗臭のする息を周囲に撒き散らしながらそう言い、弟子の一人の首に噛みつく、その肉を喰い干切った。

「ごぼごぼごぼ」

喉笛を喰い破られた弟子はそう言い残し、気管に流れ込んだ自らの血によって溺れ死んだ。

人々は困惑したが、すぐにその行動の意味を悟った。救世主は弟子を天国へと送り出したのだ。

「おお……主よ！ 私も、私もお願いします！」

その様子を見ていた人々は口々にそう言い、胸の前で両手を合わせ、跪いた。

「うがあああああ！ ああああああ！ ああつあああつばあああああああああ！」

救世主は答え、弟子たちを次から次へと天国へ送っていった。

ある者は救世主に頭蓋ごと脳を噛み砕かれた。

ある者は腹から引きずり出された腸を掴まれ、投げ縄のように何度も振り回されたあげくに地面に叩きつけられ、絨毯のように広がった。

ある者は観音開きのようにアバラを開かれ、心臓を直に握り潰された。

ある者は球のように丸められ、地面を転がされた。

ある者は転がってきた珠にぶつかり、ボウリングのピンのように倒された。

ある者は胴体を雑巾のように絞られて口から胃を吐き出し、同時に肛門から腸を噴き出した。

ある者は単に殴り飛ばされた。

ある者は殴り飛ばされた者に巻き込まれ、一緒に吹き飛んでいき、岩にぶつかり一体化して二人で一つの肉塊となった。

ある者は頭を踏み潰された際に割れて歪んだ頭蓋が救世主の足にジャストフィットしたので、そのまま靴のように履かれた。

救世主は 靴 を脱ごうと脚を滅茶苦茶に振り回し、月明かりの中で踊り狂った。そのせいで 靴 にぶつかられたが多くの者が弾け飛んだ。

そうしてボロボロになった 靴 が脱げ、彼方へと飛んでいったところには、集まった人々は全て天国へと旅立っていた。

「あああああああああ！ ぐがっぎっぐおごおおおおおっ！ あっあがっあっぐああああああああああっ！」

ミートソースをかけられたスパゲティのようになった大地を見下ろし、救世主は叫ぶと、長い長い時間をかけて、それらを全て平らげていった。

やがて日が昇り、山の向こうから太陽の光が大地へと降り注いだ。

すると救世主の肉体が炎に覆われ、悲鳴をあげる間もなく一瞬にして灰へと変わった。

そして大きな風が大地を駆け抜け、灰は風に抱えられたまま、どこまでも突き進んでいった。

東へ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3636q/>

I N R I

2011年1月28日02時37分発行